

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年4月21日

都道府県の人口移動を瞬時に見える化するツールを公表します

埼玉県は、都道府県間の人口の移動を簡単に分析できる「都道府県別男女別年齢別社会増見える化ツール」を開発しました。

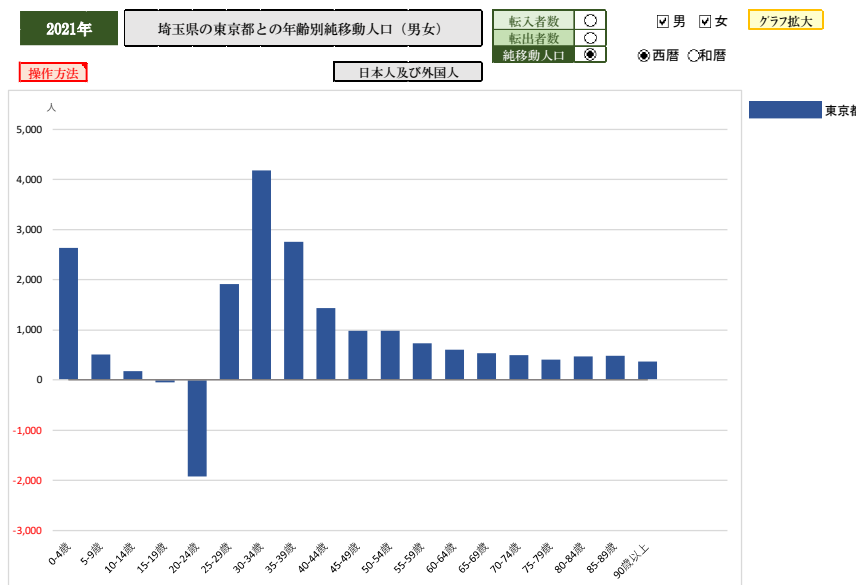
2018年から2021年の住民基本台帳人口移動報告のデータを基に作成したツールです。都道府県間の転入者数、転出者数、純移動人口（転入者数－転出者数）を、男女別年齢別にグラフ形式で表示することができます。

都道府県間の人口移動の状況を把握し、政策形成や研究にぜひご利用ください。

● ツールを利用した分析の例

分析例1 埼玉県の東京都との年齢別純移動人口

2021年 埼玉県の東京都との年齢別純移動人口

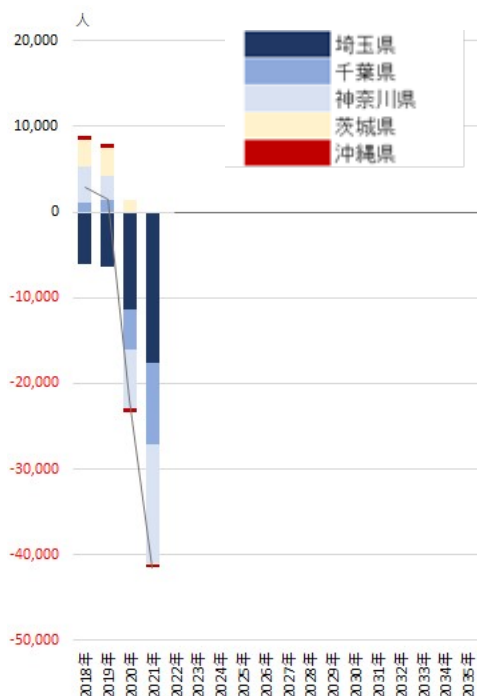


	東京都
0-4歳	2,625
5-9歳	509
10-14歳	183
15-19歳	-54
20-24歳	-1,922
25-29歳	1,913
30-34歳	4,182
35-39歳	2,760
40-44歳	1,431
45-49歳	985
50-54歳	985
55-59歳	730
60-64歳	602
65-69歳	530
70-74歳	489
75-79歳	402
80-84歳	471
85-89歳	478
90歳以上	364
計	17,663

埼玉県から見た東京都との純移動人口を年齢別に見ると、ほとんどの年齢階層で転入超過となっています。転入超過数の最も多い年齢階層は、30-34歳です。転出超過となった年齢階層は、20-24歳と15-19歳でした。

分析例 2 東京都の都道府県別純移動人口の推移

2018～2021年 東京都の都道府県別純移動人口の推移



年	埼玉県	千葉県	神奈川県	茨城県	沖縄県	計
2018年	-6,077	1,069	4,201	3,125	513	2,831
2019年	-6,428	1,479	2,713	3,339	421	1,524
2020年	-11,431	-4,539	-6,874	1,393	-475	-21,926
2021年	-17,663	-9,375	-13,896	-114	-397	-41,445

東京都の純移動人口の推移を都道府県別に見ると、2018年、2019年は、埼玉県との人口の移動が唯一、転出超過でしたが、2020年からは千葉県、神奈川県、沖縄県が転出超過に転じ、2021年には、茨城県が転出超過に転じました。

なお、2021年の埼玉県の転出超過数は、17,663人と他県と比較して一番多い人数となりました。

● 都道府県別男女別年齢別社会増見える化ツール

1 特徴

ツール名	都道府県別男女別年齢別社会増見える化ツール
表示単位	47都道府県
表示内容	任意で選択した都道府県における ①転入者数、転出者数、純移動人口（男女別、5歳階級別） ②転入者数、転出者数、純移動人口（日本人、外国人別） ③国内間、対国外、国内外の移動（日本人、外国人別）
表示機能	都道府県をグループ化して、首都圏や地方単位で分析することが可能
データ	2018年から2021年の住民基本台帳人口移動報告（1年ごとにデータ更新）
アプリケーション	マイクロソフト エクセル2019

2 ダウンロードと操作方法

県ホームページ内の「都道府県別男女別年齢別社会増見える化ツール」のページからダウンロードできます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/syakai-tool.html>

統計分析ツール活用事例集の「首都圏の移動人口について」のページに、操作方法が掲載されています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/syutoken-ido.html>